

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月22日
明治大学卒業予定年	2025年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬-12月中旬 2 学期:1月上旬-5月上旬 3 学期:5月下旬-8月中旬 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41910人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6,257	844,695円	サービス料\$217含む
宿舍費	5,913	798,255円	申し込みに\$50,
食費	1,500	202,500円	
図書費	100	13,500円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	150	20,250円	
現地交通費	30	4,050円	大学周辺は無料バスを使用、遠方へは電車を使用(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500	67,500円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	337	45,495円	形態:
渡航旅費	924	124,790円	
ビザ申請費	160	21,600円	
雑費	300	40,500円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	16,171	2,183,085円	\$1を¥135とする

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田 目的地:ロサンゼルス 経由地: 復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:成田 経由地:
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:シンガポール航空 料金:124,790 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:134,820 復路 航空会社:シンガポール航空 料金:134,820 ∴合計:269,640
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:シンガポール航空公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
以前バークレー校へ行った方々のアドバイスを参考にしました。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮の名前にもあるように、世界各国からたくさんの方が住んでいました。また、学生だけでなく夏にバークレーでリサーチをするために来た人もいました。毎週水曜日には、食事やダンスを楽しむ Coffee Hour という交流イベントもありました。また、ビーチへの小旅行や Hiking、Zumba Dance Class、Movie night 等の様々なイベントが不定期で開催されていました。沢山のイベントがあるので友達を作るには最適の環境だったと思います。また、食堂の食事もピザやハンバーガーのようなアメリカ料理だけでなく麻婆豆腐やてんぷら等のアジア料理をはじめとする各国の料理が楽しめました。また、サラダバーやドリンクバーも充実していたので食に関しては基本的に困ることはなかったです。しかし、部屋自体は狭く窮屈に感じました。それなので、金銭面に余裕がある方は Single の部屋をお勧めします。



現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所: 現地の歯医者)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 海外保険会社(自分の保険の適用範囲を確認しました。))
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
大学から犯罪の情報や、危険人物の情報が即時にメールで知らされました。 夜に一人で出歩かないように心掛けました。 幸い盗難等を含む犯罪には巻き込まれなかったです。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
携帯電話の SIM は現地の Verizon という通信会社で契約し、毎月 \$ 50 払いました。しかし、至る所にフリーWi-Fi がありインターネットに関して困ったことはなかったです。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
キャッシュレス化が圧倒的に進んでいるので、基本的にはクレジットカードを使用しました。また、現金が必要な時は現地の銀行の ATM でクレジットカードでキャッシングをし、現金を引き出しました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
アメリカにも化粧水はあったのですが、私の肌には合わず日本から持参するべきだったと思いました。また、コンタクトレンズもアメリカで購入するには処方箋が必要になるので余分に持っていくことをお勧めします。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航前にクレジットカードで支払いしました。



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ VISA の関係で最低10単位の履修が必須でした。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advertising Strategy(UGBA165)	広告戦略
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・ディスカッション・プレゼンテーション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Bill Fanning
授業内容	広告戦略の概要と知識を、どのようにマーケティングの業界で実践するかスキルを身につける。広告戦略を実際に適用するうえで、必要となってくる用語、概念、実用的な知識の習得がメインとなる。
試験・課題など	毎授業の前までに読まなければいけないリーディングの課題があり、大体20-30ページほどありました。 試験は中間と期末があり、以下のようになっていました。 中間:MCQ(Multiple Choice Question)の試験・レポート 期末:MCQ タイプの試験・記述式の試験・グループプレゼンテーション(2回)
感想を自由記入	非常に実践的な知識を学ぶことができる良いクラスでしたが、基本的に150分間先生の講義を聞くだけなので、あまり面白くはなかったです。期末試験のグループプレゼンは少し珍しいもので、実際の企業の担当者の方をお招きし、私たちが広告の案を企業の方に提案をする、というものでした。最終プレゼンは zoom を通して企業の方に参加してもらい、どのグループの広告案が一番良かったか選んでいただける、日本ではなかなか体験できないような経験ができました。私は、このようなビジネス系の講義を日本で受講したことがなく、授業についていくのに苦労したので日本で事前にこの分野の学習をしていくことをお勧めします。



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Field Study of Buildings & Cities	建物と都市の現地実習
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実習・講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に480分が1回
担当教授	Seth Lunine
授業内容	実際に街に出て、様々な建築様式や歴史的建造物を目で見て学ぶ。
試験・課題など	毎回のフィールドワークのあとに、印象に残ったことや興味深かったことに関してのレポート提出がありました。試験は無く、最後にファイナルレポートがありました。
感想を自由記入	毎週金曜日朝9時に街に出て夕方17時まで、建物の構造や街自体の構造を目で見て学ぶことができるクラスでした。私は地理学専攻ではないのでクラスについていけるか心配でしたが他のクラスメイトも地理学専攻の人は数人でほとんどが、違う専攻の人でした。ずっとパークレー内を散策するのではなく、サンフランシスコやオークランドに電車で行くこともありました。自分一人では知りえないような場所に沢山行くことができ、たくさんの建物形式や都市計画を学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Public Speaking(RHETOR 2)	演説法の基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session D
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・ディスカッション・スピーチ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Michael G Dalebout
授業内容	生徒たちは日常の会話(スーパーでの軽い会話やテレビ番組での政治的な議論等)で、どのように相手を説得させているか、またどのように説得させられているか、またどのようにしたら会話をうまくすることができるかを学ぶ。 昔の哲学者の考えを現代社会でも応用するために、詭弁法等の基礎的な考えを学ぶ。 実際にスピーチをすることによって、実践的なスキルを積む。
試験・課題など	授業が月・水・金曜日にあったのですが、授業開始前までの課題は以下のようになっていました。 月:リーディング課題(10-20ページ)、それに対するレポート。 自分のスピーチ動画を録画し、動画をクラスメイトに共有。 授業の予習用リーディング(20-30ページ)。 水:リーディングに関する小テスト。リーディング課題。 金:リーディング課題 授業内で行うスピーチの前準備。 この他にも追加で課題が出されることがよくありました。 試験は中間・期末の二回でした。 中間ではMCQタイプの試験・ペアワーク・グループプレゼンの3つありました。期末はファイナルスピーチだけでした。 課題は多いかと思いますが、先生がとにかく良い方で留学生にも配慮のあるかたでした。
感想を自由記入	スピーキング力を伸ばしたいと思い、このクラスを受講しました。留学生は私1人で、他は皆現地の生徒でした。4単位の授業ということもあり、授業の課題の量は多かったですし、授業も課題のリーディングを読まないといけない内容でしたので、しっかりと課題に取り組む必要がありました。 また、毎週月曜日にはスピーチ動画の録画、金曜日には教室内でスピーチがあり、これらはスクリプトを考えてくる、記憶してくることが禁止されていました。そのため、即興でスピーチをしなければいけなく苦労したのですが、数を重ねるにつれてスピーチが上達していったので、スピーキング力や、人まで話すことが苦手で、それを克服したい人にはおすすめの授業です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

検討中です。

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 対策
	10月～12月	サマーセッション応募、留学計画書等準備
留学/帰国年	1月～3月	ビザの取得、航空券の手配、寮の手配、履修登録、コロナワクチン(三回目)接種、履修予定の授業内容予習
	4月～7月	渡航、オリエンテーション、中間試験(6月上旬)・期末試験(6月下旬)
	8月～9月	セッション間にラスベガス小旅行、中間試験(7月中旬)・期末試験(8月頭)、セッション終了後にロサンゼルスへ旅行、帰国
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

サマーセッションでは明治とは異なり、全学部の授業を受講できます。それなので、バークレーで何を学びたいか、を明確にしておくべきだと思います。また、留学期間も3か月ほどで非常に短いので、留学中に達成したいことや目標もはっきりさせることで有意義な時間を過ごせるのではないかと思います。

留学前に、受講予定の授業の予習を日本で行うことをお勧めします。(ビジネス系のクラスを受講し、初めの方はついていくのに苦労しました。)

渡航前に必ず、歯医者に行って歯の治療をすることを強くお勧めします。私は、渡航前に歯医者に行かず、バークレーで銀歯が取れてしまい、歯医者に行き治療の見積もりをしてもらった結果、総額80万円かかると言われました。(保険の対象外なので、私は歯の治療をあきらめました。)

